

マムシ咬傷に対する経口セファランチン製剤の効果の検討

1. 研究の対象

京都中部総合医療センターにマムシ咬傷で入院した患者。

2. 研究目的・方法

当院で2014年10月1日～2019年9月30日にマムシ咬傷で入院した患者を対象とし、経口セファランチン製剤服用の有無、入院期間、腫れの経過を調査することで、マムシ咬傷に経口セファランチン製剤が有効であることを明らかにすることを目的としています。

調査項目は性別、年齢、経口セファランチン製剤服用の有無、入院日数、腫れの経過等電子カルテから抽出した情報を使用します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテの情報(性別、入院期間、腫れの経過等)

4. 期間

承認日～2019年11月30日

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都中部総合医療センター 患者相談係

研究責任者：京都中部総合医療センター 薬剤部 薬剤師 川勝勇樹

-----以上